

# 日本学校心理学会第 10 回大会のお知らせ

社会の変動が激しいなか、子どもが苦戦しています。不登校、いじめ、発達障害などで苦戦する子どものニーズに対応しながら、学校が変わっていきます。苦戦している子どもへの対応を通して、学校はすべての子どもに柔軟になってきています。苦戦する子どもは、学校を変える子どもたちと言えます。

子どもの苦戦を支える教育活動には、生徒指導・教育相談、キャリア教育、学校保健、学習援助などがあります。学校心理学は、これらの教育活動を重ねる「のりしろ」であり、子どもへの援助を統合し発展させる「のびしろ」です。全国の方が、日々の工夫と試みをもちより、学校心理学を基盤として、心理教育的援助サービスの力を高めたいと思います。

日本学校心理学会の第 10 回大会を下記の通りに実施することになりましたので、ご案内します。今回は、講演、ポスター発表、実践発表、スキルアップワークショップを行います。会員の皆様のお役に立てる大会にしたいと思っております。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

日本学校心理学会理事長 石隈利紀

記

大会テーマ

学校を変える子どもたち

ひとりの支援が みんなの支援

- 1 期日 平成 20 年 11 月 23 日（日）・24 日（月）
- 2 会場 埼玉会館（〒 330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4 TEL048-829-2471）  
JR 浦和駅（西口） 徒歩 6 分

3 日程

	9:00	9:45	11:45	13:30		16:30	17:00
11/23 （日）	受付	記念 講演	昼 食	ポスター発表 a・b	移動	懇親会	

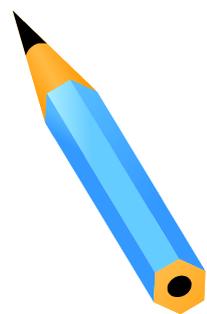
  

	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00
11/24 （月）	実践発表 a・b・c	総 会	昼 食	スキルアップ ワークショップ a・b・c	

- 4 内容  
(1) 記念講演 11 月 23 日（日） 午前 9 時 45 分から 11 時 45 分まで

講師：石隈利紀（いしくま としのり）（日本学校心理学会理事長）

演題「学校を変える子どもたち—ひとりの支援が みんなの支援—」



(2) **ポスター発表** : 学校心理学に関連する調査研究・実践研究など、広く募集しております。

①ポスター発表の形式

ポスターの大きさは幅 90 cm×長さ 180cm 程度です。在席時間(90 分)を指定しますので、その間に各自説明と質疑応答を行ってください。

②発表資格 : 日本学校心理学会の会員であり、平成 20 年度会費を納入しており、「発表申込書」を提出していること。ただし、非会員であっても連名発表者になることが可能です。

③秘密保持のため録音は禁止致します。

\*発表内容、発表原稿については、審査を行います。

会場の都合上、発表者数には上限がございます。発表申し込みが多数の場合には、発表をお断りする場合がありますので、あらかじめご通知おきください。発表の内容および研究手続き、ケース発表において、人権の尊重に十分に配慮して下さい。

(3) **実践発表(大会実行委員会企画)** 11月24日(月)10:00～12:00

現場の実践について、具体的に詳しく発表していただきます。「学級」、「学校」、「地域」の3種類のレベルでの実践事例について、発表いただくことを計画しております。その報告について、コメンテーターを交えてディスカッションします。発表とディスカッションを通して、現場の実践から「成功の鍵」や「試行錯誤」を含めて深く学ぶ時間にしたいと考えています。「学校心理学」の考え方を使って実践を見直してみると、きっと新たな発見があるでしょう！

①子ども・保護者への援助の実践から

学級における苦戦している子どもの援助や、保護者とのパートナーシップづくりについての実際について、苦戦や迷いも含めて報告していただきます。一人ひとりの子どもに関する援助を学級でどう行うか……。小・中・高等学校の学級経営の立場と、相談室からの援助という2つの側面から検討します。

②学校づくりの実践から

公立高等学校の学校づくりの実践を取り上げます。ソーシャルスキル獲得を促進する授業実践から苦戦している子どもへのカウンセリングまで、一次的援助サービス、二次的援助サービス、三次的援助サービスを統合的に、計画的に行う学校づくりについて報告していただきます。小・中学校の学校づくりも視野に入れて、ディスカッションを行います。

③地域の援助資源を活用した特別支援教育の実践から

小・中・高等学校における特別支援教育の実践を、地域資源である特別支援学校などとの連携によって、どのように充実させていったかについて発表していただきます。特別支援教育のコーディネーターを中心として、学校がどのように地域資源を活用するかに焦点を当ててディスカッションを行います。

(4) **スキルアップ・ワークショップ(大会実行委員会企画)** 11月24日(月)14:00～16:00

学校心理学的な援助スキルについて学ぶワークショップを考えております。できるだけ演習を取り入れて、体験を通して学ぶ時間にしたいと考えています。子どもを活かし、援助者を活かすスキルの向上をめざして！

①学習の苦戦の援助～子どもの得意な「学習スタイル」を活かして

個別知能検査(WISC-IIIとK-ABC)のモデルを活用して、「言語型-非言語型(操作型)」、「聴覚型-視覚型」、「継次処理型-同時処理型」など、子どもの得意な学習スタイルに焦点をあてた、学習の援助の方法について、一緒に学びましょう。授業の工夫、個別指導の工夫へのヒントを獲得しましょう。学習面の援助の鍵は、一人ひとりの子どもの得意な学習スタイルの発見と活用にあると思います。

②子どもの「学校生活」スキルの促進

子どもたちが学校生活を送るうえで、さまざまなスキルが求められます。自己学習スキル、コミュニケーションスキル、集団活動スキル、進路決定スキル、健康維持スキルなどです。今回は、授業や生活の一場面の中ですぐに使える「子どもの学校生活スキルを伸ばすスキル・トレーニング」について、ロールプレイを通して学びたいと思います。

### ③ライブ（デモンストレーション）から学ぶ「援助チーム」の作り方，進め方

援助の開始から，援助チームをどう立ち上げていくか，そして，校内での援助にどのように広げていくかについて，具体的な流れを，ロールプレイとしてライブ（デモンストレーション）を行います。それをもとに参加者の皆さんと一緒に学び考える時間にしたいと思います。本では伝えきれない内容を，学んでいただけるものになると思います。

### (5) 総会 11月24日（月）12:00～13:00

学会の針路を決める重要な会務総会です。会員の皆様の積極的な参加をお願い致します。

### (6) 懇親会 11月23日（日）17:00～

会員相互の親睦を深めるために，大会会場近くで楽しいパーティーを予定しています。会費は5,000円です。なお，当日は混雑が予想されお断りする場合がありますので，お早めにお申し込みください。

## 5 ポスター発表の申し込み方法

ポスター発表を希望する方は，学会のホームページから申し込みを行ってください。申し込みの締め切りは，**6月30日（月）**です。発表を受け付ける場合には，7月下旬までに決定通知をお送りいたします。決定通知を受け取られた方は，**抄録原稿を8月30日（土）**までに（消印有効）事務局あてに郵送してください（詳細は同封の「日本学校心理学会第10回大会での発表について」をご参照ください）。

**\*発表の申し込みはホームページから行っていただくことを原則とします。**

ホームページの「10回大会発表申し込み」のページから申し込んでください。

セキュリティのため，パスワードをかけております（半角英数文字です）。

学会のホームページは <http://schoolpsychology.jp> です。

大会のお知らせに掲載してあるパスワードが必要です

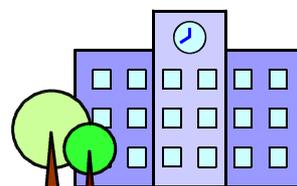
お手数をおかけしますが，事務手続き軽減のためご協力ください。

なお，インターネットの使用が難しい場合は，同封の申込書を事務局まで**郵送**してください。

\*締め切り厳守をお願いします。

## 6 参加費

【予約参加】	会員	4000円
	非会員（学校心理士）	4000円
	非会員（大学院生）	4000円
	非会員（その他）	5000円
【当日参加】	会員	5000円
	非会員（学校心理士）	5000円
	非会員（大学院生）	4000円
	非会員（その他）	6000円



\*なお学部生は，2日目のスキルアップワークショップのみ参加可能で，当日参加1000円です。

## 7 大会参加の申し込み方法

郵便振替用紙による参加費の払い込みをもって，参加申し込みとします。参加申し込みの締め切りは，**10月31日（金）**です。非会員の参加もできます。なお，当日参加も可能ですが，準備の都合上できるだけ期限までに申し込んでください。

## 8 参加費等のお支払い

同封の振込票にて参加費をお振り込みください（振込手数料はご負担ください）。同封の振込票を用いられない場合、非会員の方が申し込みをされる場合は、郵便の振込用紙に以下の必要事項を記入してお振り込みください。申し込みの締め切りは10月31日（金）です。お振り込みが10月31日（金）以降になった場合には、当日参加扱いとなります。受付にて、不足分をいただきますので、ご承知おきください。

口座番号：00100-5-776495 加入者名：日本学校心理学会

通信欄：振込金額内訳

〈大会参加費〉

会員 4,000 円

非会員（学校心理士） 4,000 円

非会員 5,000 円

大学院生 4,000 円

〈懇親会費〉

会員・非会員とも 5,000 円

## 9 学校心理士資格更新のポイント

大会への参加と研究発表は更新のポイントになります。

\*大会参加章を各自で保存してください。

記念講演（11月23日午前）は種別Aとして申請予定です。

実践発表（11月24日午前）は種別Bとして申請予定です。

スキルアップ・ワークショップ（11月24日午後）は種別Aとして申請予定です。

## 10 今後の日程

ポスター発表申込	6月30日（月）	消印有効
ポスター発表抄録集原稿締め切り	8月30日（土）	消印有効
大会予約参加・参加費払込み	10月31日（金）	

## 11 その他

\*宿泊や交通の斡旋はいたしませんので各自でお願いいたします。

\*会場での録音・ビデオ撮影は禁止いたします。

## 12 お申し込み・お問い合わせ先

日本学校心理学会事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学附属学校教育局 石隈研究室気付

TEL & FAX : 03-3942-5188 （石隈研究室 火曜・金曜・土曜対応）

ホームページ：<http://schoolpsychology.jp>

☆学会HPでも、大会の様子はお知らせしていきます。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。

